

新虫史料

表の方を中心に打ち合わせを重ね、手作りのまつりを開催することができました。 手作りランチをいただき、スポーツ表彰に続き、発表に合わせて歌い、踊り、発表者も観覧者も とよおかまつりや文化祭作品展を経て「公民館まつり」の開催が明確になり、参加グループの代

体となって、楽しいまつりとなりました。

第 685 号
発行人●豊 丘 村 公 民 館 館長 原 国人編集人●長野県下伊那郡豊丘村公民館報編集委員会0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村 (3月1日現在※外国人を含む) 男 3,356人 女 3,405人 総人口 6,761人 世帯数 2,144戸

平成二十九年度 公民館まつり 実行委員長 壬 生

う、今回の公民館まつりを計 り、ゆめあるてのステージで ら「以前のような芸能発表会 落ち着いて見聞きできるよ り楽しみたい」等の声が上が がしたい」「自分達でゆっく 昨年のとよおかまつりの 公民館登録グループか

られました。 員会よりスポーツ表彰が贈 ポーツクラブサッカー部、 ルスターズ、総合型地域ス た西元由希音さん、48オー 昼神ゆかりさんに、教育委 スポーツ事業で功績を残し たと思います。 午後一時からは、

りに対抗するものではなく

つりは決してとよおかまつ

画しました。ただし、このま

者も観覧者も楽しい時間を ステージ発表があり、出演 続いて公民館グループの

れたことを申し添えます。

今回、ステージ発表に十、

いグループのために開催さ のみなさんに見てもらいた や、日頃の成果をより多く

発表できなかったグループ 開催時期や時間等の都合で

> きました。それぞれに工夫 料理に三、お花に二団体の されていて、とても良かっ ジフラワーが飾られたテー フルで大変おいしくいただ よる昼食が用意され、アレン 皆さんが名乗りを上げてく て賑やかく開催できました。 れ、観覧の皆さんも加わっ まず、お料理グループに

一今年度

良い点・改善したい点があ

参加

ン、裏巻き寿司、アボカドと 場へ搬入することができま よく渉って十二時前には会 えびのサラダ、 成感が心地よく、パン作り れど、やり切ったという達 した。確かに忙しかったけ ン、かき玉汁の五品。手際

謝申し上げます。 タッフの皆さんに改めて感 参加者数約百三十名。 ればと思います。当日の総 らをもとに次に繋げていけ ろうかと思いますが、これ

塩分控えめで、

まろやかな

内にもかかわらず台所の蛇

今年の冬も寒かった。

口が凍った時があり、

た話を聞きました。

でしょうか?かき玉汁など

お味の方はい

かがだった

パン作り教室も

料理に関わるクラブも発表

はとても熱い戦いが行われ

そんな中、お隣の韓国で

ていました。 平昌オリンピッ

れて、食べ

公民館まつり

によってお

ではないでしょうか。

やさしい味になっていたの

副実行委員長 北林 美はる

言ってもらえたことは、と

てもやりがいがありました。

これを機会に、

料理を覚

はないでしょうか。

日本は、冬季オリンピッ

いていた方も多勢いたので せず、テレビに、かじりつ た人たちに「おこ の場を設けてく

いしい」と

クです。寒かったので外出

この日の作り手は六人。朝

ますので、どうぞ

一緒にやっ

えたい方々を募集しており

り始めました。 から竹下先生の指示のもと、 用意するのは、リングパ 人分の昼食を分担して作 一時の完成を目途に、 羊のマフィ

てみましょう。

提供された昼食

ました。けがの為思うよう

には、世界中が注目してい ギュアスケートの羽生選手 晴らしいことです。 特にフィ を獲得しました。とても素 ク史上最高十三個もメダル

に練習できず、本番一発勝

負という緊張感の中での金

メダル。私もテレビで見て

質屋、酒造業、参勤交代の を許可し、猪や鹿による農 窮する村民を扶助して歴史 た。村では村民の困窮を自 作物の被害を守る・その他 田や畑の開発・鉄砲の使用 人足等々、多様な稼ぎがあっ 村全体で困 間見る事が出来 当時の社会情勢の 年に芦部七左衛門 年·片桐久治郎 行方不明となるが、濃州 子 (二歳) があ 「無宿」の男と判明した等、 河野村文書に った事、八 宅前に捨て の一端を垣 門家の馬が も、天保七

印象的でした。

プーさんが大好きな彼に

さすっていた姿が、とても

んばってくれた右足首を、 感動」の一言。一緒に、が いて、ただただ「すごい!!

新出史料の「河野村文書」

り多く山の様になっていま れます。特に今回はファン 大量にプーさんが投げ込ま ら、羽生君、神対応ってと の数に比例して、いつもよ ころでしょうか。 選手は、韓国の子供達に贈っ たそうです。 した。そのプーさんを羽生 今回のオリンピックは、 滑り終わると、いつも

会の総会にあわせて行われた。

天保飢饉期の河野村

だいた。

を手掛かりとして 新出史料「河野村文書

期、とりわけ天保飢餓期

対応しきれず、名主を経由

定忠次]や「大塩平 位前の時代で、

五人組を中心に扶助したが

(一八三三~三六年) に起

を手掛かりに、江戸時代後

河野村芦部家文書の記載

村でも数多く出た。村では

今から約百八十年

天保期と言えば

困窮を訴える住民が河野

豊丘史学会長 水野正義

きた、河野村の人々の暮ら

一月十八日、豊丘史学会

語られた。

しについて、

事例を上げて

の対応として相互扶助を

願い出た。その他、河野村

た頃で、幕府の権

八郎の乱」のあっ

して知久家お代官に扶助を

行っている。具体的には、

宿や博徒が跳梁し 力が行き詰まり、無

は約一○一六石であった。

当時の河野村全体の石高

無尽講・低金利での貸付・

(領主の知久家は三千石

銭を与えての貧窮救助)・新

有力者からの合力(米や金

様々な事件があ た時代で、村でも 究冊子を刊行したことは、本紙でも何度か掲載してきた。その貴 と「河野村研究会」を立ち上げて解読し、目録や翻刻を添えた研

立正大学の先生が河野村の名主家文書を偶然手に入れ、学生達

阿島に陣屋を構えていた)

天保期、夏は低温で雨が多く

己責任とせず、

梅雨明けも遅れ、更に台風

による大雨などが加わって

大凶作となった。

越えていった。 的な大飢饉を乗り 天保飢饉期の暮らしを知る

重な史料からわかる当時の生活等についての講演会が、豊丘史学

素晴らしいオリンピックで 想う気持ちが垣間見られ、 選手同志の友情等の相手を

感動をありがとう。 今風に言うな

と思いました。 教室を続けてき

て良かった

過ごしました。いくつかの

橋が架かり、上郷側にリニ 飯田市上郷地区の間に高架 の出口ができ、喬木村から

はいろいろな諸課題、諸問

ると、リニアの開通までに

こうした論議に臨んでい

生しません。

日本で高印象のトップは

アの飯田駅が造られ、

新幹

ることになります。

する日が九年後には見られ 線車両が通過したり、停車

資がかかることを痛感しま 時間と労力、多額な設備投 題を乗り越えていくために

り、観光スポットにもなって

全国各地に名所は数多くあ 何と言っても富士山ですが、

じように豊丘村もできるの います。そんなところと同 端の位置になる小園地区と リニア。大鹿村から村の南

身近な存在になってきた

その進捗状況は、年数回開

行われようとしています。 R東海や中部電力によって 電所建設に向けた工事がJ 新幹線に電源を供給する変

客するかという話題が上がっ 豊丘村に多くの人たちを誘 で、リニア開通後、

てほしいと思っています。

河岸段丘を

現在は、トンネル工事や

る議論も必要だが、一方

、如何に

私はリニアの工事に関す

光スポットに

林 原 原

健治

壬生沢地区の間にトンネル

れています。

会に詳細にわたって報告さ かれる村のリニア対策委員

めていると聞きます。人の 近隣では誘導の仕掛けを始

流れは何もないところに発

食を

を目的に、ぼたもちなどを作った。 /ナー」を二月二十四日(土)に交流学習センターゆめあるてで開き、行事食の伝承豊丘村女性団体連絡協議会(通称・女団連)では、親子で一緒に学べる講座「親子セ

親子セミナーを開催している。 い地域づくりを目指して、研修会や村長さんとしゃべらまい会の他、今回のような豊丘村女団連は村内の四つの女性団体で組織しており、女性の視点から明るく住み

今回は、十二家族三十四人という大勢の方が参加し、賑やかに料理教室を行った。

会となった。 丘村の行事食を伝承すると共に、講師を務めた女団連の会員とも交流を深める良い機丘村の行事食を伝承すると共に、講師を務めた女団連の会員とも交流を深める良い機 会となった。

北垣外 佐藤千香

ぎ」の違いについて説明し まず、「ぼたもち」と「おは 参加しよう!と決めました。 くれて、すぐに家族みんなで 前に、ぼたもち等を親子で 豊丘の行事~春のお彼岸を て下さって、「ぼたもち」は、 リントを子供が持って来て ん蒸し、ミニパフェでした。 緒につくろう!」というプ 献立は、ぼたもち、茶わ 〜親から子へ伝えた

とよおかの

牡丹の季節、春 の季節、秋のお 丹のイメージで のお彼岸で、牡 丸く大きい形。 「おはぎ」は、萩

した。 勉強になりま なかったので、 と聞いて、知ら で俵型に作る。 彼岸で、萩のイ メージで小ぶり

員で三十四名 二家族で、全 参加者は十

と、とても多い参加者でし 仲良く、楽しく調理

春のお彼岸を前に「ぼたもち」作りを学ぶ

興味があったようです。 なかったので、子供たちも

わん蒸しを自宅で作る事が ニパフェと作りましたが、茶

館した交流学習センターゆ

平成二十六年十一月に開

めあるては、「夢」とスペ

使っていただいております。

思えないほど大 ちましたが、土

八変綺麗に

ちよく快適に使用できるよ

い方がいます。誰もが気持

うに、ホールに掲示した使

足使用とは

イン語の「arta(ある () =芸術」を組み合わせ

きました。最後に全員で には、皆で上手に順番にで しめじ、ぎんなん、みつ葉、 とり肉、かまぼこ、長いも、 た。最後の卵液を入れる時 んでお手伝いしてくれまし 同じ数ずつ入れる事を楽し 「いただきます」をして食 卵をといて裏ごししたり

で参加したいと思っていま 家でも茶わん蒸し作って ありましたら、またみんな ね!」と言って、おいしそう ね!」「とってもおいしい もおかわりしている子供も で作った食事はおいしかっ いました。子供たちも「お たようで、ぼたもちを何回 べました。やはり自分たち に食べていました。次回も スタッフの皆さん。

できました。 ぼたもち、 茶わん蒸し、ミ

掛けも考慮に入れたいとこ 域経済活性化につながる仕 長時間滞留してもらい、

事業にはなると 楽しめるように きる遊歩道を整 段丘端に誘導で 思いますが、樹 開通後には桜の を植樹すれば、 数種類の「桜 木の伐採を行い は長い期間花を ん。大掛かりな でしかありませ 漠然とした印象 現在は樹木が生い茂り、 を愛でなが し、道沿いに

演出したらどうでしょうか。 ではないか。と思うのは、国 形」を体感できる場として が創り出した[河岸段丘地 内でも数か所しかない、自然 ます。訪れた人には村内に

第 19

り離れていた長兄が父親代 くなり、以後は年齢が一回 たが喧嘩をした記憶がない として大正十三年に生まれ 家の手伝いを行なった。幸 うだい全員が力を合わせて りには広い農地が有り、きょ ほど仲が良かった。家の回 た。男三人、女四人であっ 人きょうだいの六番目の子 わりとして面倒を見てくれ に、病弱であった父親が亡 子さんが小学校五年生の時 高森町上市田の農家で七

都の織物工場に働きに出た。 後、近所の友達と三人で京 し二年間ほど家で過ごした 中学校一年で学校を卒業

むのに最初は戸惑ったが

で来た。家族の輪に溶け込 により結婚、現在地へ嫁い

持ち前の明るい性格で乗り

男家族との四人で

は寂しい思いが

りがとうございました。 対岸の景色も眺められ 池野幸子さん

北村在住

あった。その時に母親が招 過ごした。仕事の成績は良 クになることもなく楽しく ともあり、特にホームシッ 近くの製糸工場で働いた後、 ほどで終え帰郷し、暫くは 今でも鮮明に覚えている。 待されたことは誇らしく く、特別表彰されたことも 同年代の仲間が大勢いたこ 全国各地から集まっていた 十三歳の時に知人の紹介 そんな工場勤めも七年間

しみに暮れる間もなく、以三歳の若さで亡くなった。悲 病床に臥してい 痺が残るなどし ど、男勝りの働 あったご主人の 養蚕、田畑など 切った。夫婦で力を合わ 手術したのが、 四十歳代の後半 前にも増して懸命に働いた。 脳卒中で倒れ、 土方、家事の燃 た。天竜川の堤 行なったが、体 た。ご主人は五十歳前後に め、 (台風にも耐える 稲刈り時の て約十年間 右半身に麻 き様であっ たが、六十 の農作業を に胃潰瘍で る頑丈さ)な 防作りでの 分まで働い 力に不安の ハザ作り 科用の薪集

歴であるという頑丈な体に 在なのは幸子さんだけなの いの中で健 あるが、長 唯一の入院 穏やかに あると感じた。 文責

感謝である。

現在きょうだ

ゆめあるてホールに掲示した使用規定

合があります。

めあるて』

点として、

公民館

や地域づくりの拠

て、また人づくり

芸術の拠点とし

て名づけられました。

ペースでのマナー

-が守れな

豊丘村教育委員会

忘れてしまう方 しかし、中には

や、共有ス

いします。

お掃除等を

用規定の確認を今一度お願

豊丘村の文化・

登録グループをは

ゆめあるて使用規定

破壊した場合は直もに事業局に報告し、余

僕の有限等を協議してください。 料理講習家以外での 商火の襲煙器員の使 用はできません。 料理講習家は、料理及び飲食以外の活動で のご使用はご連絡ください。 使用液は必ず掃除をし、使用報告器を提出 してください。 神秘等きちんとできていない 場合は、次からの使用をご選集いただく場

施設内で 球状などはできません。 むやみに大声を出したり、こみを勤らかした

り、人に迷惑をかける行為があった場合は、 速やかに返還していただきます。

重丘村敦育委員会

の皆様にご利用い じめ、多くの村民

ただいておりま

苦難を乗り越え友丈夫な身体に シリーズ「元気な高酸者」個 施設は三年が経

九十三歳

とが何よりの健康の秘訣で にせず、おおらかであるこ 何でも美味しくいただける こと、また小さなことを気 食べ物に好き嫌いはなく

暮らしており、また近くに いる幸せをしみじみ噛みし として和やかな生活環境に 合わせるなど、ファミリー 住む次男家族とも良く顔を

感謝

草取りを行なうなど足腰の き甲斐を感じていたし、そい、ひたすら働くことに生 たず、小柄な体を精一杯使若い頃から特別な趣味を持 健全さの維持に努めている。 外出の機会は減っているが、 やや難があることもあり、 現在でこそ聴力と視力に ている。 に大いに役立っていると思っいたことは、頭の老化防止 りに思っている。また以前 のような生き方を今でも誇 天気の良い日には家回りの に大いに役立っていると思 から欠かさず日記を書いて 在でこそ聴力と視力に

桐崎 長 成させたと記されています 協力体制で五年をかけて完 氏が担当し、村を挙げての 門·小澤万里·今村正次の三 史家であった武田彦左衛

内容は、原始時代から昭

丘村誌」を にて販売します

周年を記念して発刊されま

「豊丘村誌」(上下二巻) 昭和五〇年に合併二〇

した。執筆は村在住の郷土

わっていません。自分の滑

近に感じたであろう小平選手への想いを書いていただいた。 れた平昌オリンピック。日本では過去最高の、十三個というメ に担任だったという恩師二人がこの豊丘村にいるのだ。より身 千mで銀メダルを獲得した。この快挙に心から拍手を送りたい 主将という大役を務め、スピードスケート五百mで金メダル ダルを獲得した。茅野市出身の小平奈緒選手は、日本選手団の 世界中を興奮の渦に巻き込み、多くの人達に感動を与えてく なんと、その小平奈緒選手の小学校低学年の時と、高校の時

つも通り

奥田綾子

だと思います。 言動で世界の人々に感動を ダルを獲得し、更にはその をさせていただきました。 年間、小平奈緒選手の担任 与えたことは、周知の事実 で主将をつとめ、ジンクス に負けずに銀メダルと金メ 奈緒が平昌オリンピック 私はご縁があり、高校三

ょ

お

لح

り、私が心掛けていたのは 手の世界も未知のことであ トのことも世界を目指す選 当時の私にとってはスケー

> 通の女子高生として過ごせ クラスを「ありのままで普 う、ということだけでした。 る居場所」であるようにしよ 高校時代から奈緒を見て りを目指す貪欲さ。これら は高校時代から変わりませ きだということ。究極の滑 ない自信。スケートが大好 この積み重ねてきたも

緒自身の神 は変わりま るようにな 奈緒を認め 「ぶれていな と思うのは 素晴らしい きて、最も したが、奈 対する見方 い」ことで 奈緒に 世界が

平昌オリンピックで小平奈緒選手を応援する奥田さん(右)

平奈緒選手を小学校一年生 くれた平昌オリンピック。 小 日本中に感動をを与えて

がもたらしてくれたのだと直ぐな想いと諦めない信念

まれた才能ではなく、真っ

クで掴んだ金メダルは、恵

する子だった。オリンピッ で、何にでも一生懸命挑戦

だくのもよいと思います。

(資料館主任

唐澤武彦)

ラックスできる場になって

先ず家庭が子供達のリ

り、不平不満を言えるか、少

しは行儀悪くできるか、

いるか。家で悪態をついた

刷版」も併せてお求めいた

いと思う。

なりの経験から述べてみた

親が愛情を持つ

と思います。

ら提供された貴重な史料が も散見できます。村誌は今 自分の先祖につながる記述 布した村誌ですが、その残 は置きたい本といえます。 わる本です。 読む読まない を生きる私達のルーツに関 ふんだんに使われていて れています。また、村内か にかかわらず、一家に一冊 さて、発刊当時全戸に配 ださい。)

り三百部程を現在資料館で

流れとして割と平易に書か 政治・経済・文化の変遷が 和に至る一万年余の自然・

保管しています。しかし、

たのだと思います。 ルや人間性の評価につながっ のを「いつも通り発揮でき た」ことが、今回の金メダ 平昌オリンピックという 百メートルで金メダルを獲っ 動を味わうことができた。五 から三年生まで担任した私 人並み以上に興奮と感

思った話など三つ短くまと

うか。そして、その姿を平 と語っていましたが、奈緒 も応援し続けていきたいと 高みに向かって「顔晴」り、 昌で実際目の当たりにでき 自分の全てを表現する舞台 の求める究極の滑りをし 思っています。 ができるのではないでしょ の生き様をまさしく表現し …。 今回のオリンピックを、 も通り周囲の人々に感謝し 切な親友に声をかけ、いつ 敬意を払い、いつも通り大 突き進んでいく奈緒を今後 上ない幸せでした。さらに たことは、私にとってこの た舞台であったと言うこと いつも通り次に滑る選手に 大舞台で、いつも通り自分 ちらかというと恥ずかしが での大活躍を少しでも後押 えて写真を送った。私たちの あった。「夢への挑戦を思い たというわけではなく、ど 画を作成して送るので参加 があり、同級生で応援の動 を上げてしまった。 が、特別に運動神経がよかっ しできていたらうれしい。 メッセージがオリンピック 切り楽しんで!」と一言を添 してもらいたいとの依頼が じクラスだった子から連絡 トは群を抜いてうまかった。 ただけあって、すでにスケー んは、二人のお姉ちゃんと 緒にスケートをやってい 小学校低学年の奈緒ちゃ 二月に、奈緒ちゃんと同

る広い視野。自らが一つ一 から多くを吸収しようとす 会いを大切にし、その人々 い感謝の気持ち。人との出 で支えてくれる人々への強 たいという強い想い。周囲 りで人々に夢や希望を届け

つ選んできた道への揺るぎ

それぞれの 金メダルを

り屋の本当に普通の女の子

だった。ただ、負けず嫌い

豊丘南小学校教頭 青森隆俊

めあるて窓口にてご依頼く 勧めです。(資料館またはゆ た。是非この機会に購入い 円で販売することにしまし こで、一部(上下二巻)二千 ぶ劣化が進んでいます。そ に転入されたご家庭にはお に、ここ数十年の間に豊丘 ただきたいと思います。特 ○年余の歳月を経て、だい

歴史書として「公民館報縮 なお、より身近な近々の

實立村然

ていれば良いですが。

いじめなどが表面化する

延がストレス発散の場になっ レスも溜まっています。 里直村法 不

ますが)一日中緊張して頑 痴を言えるか、(限度はあり

張ってきたのですからスト

聖丘村然



がっておりまし

た。私は一

い顔の方にもかなり垂れ下

瞬ぞっとしまし

たが、それ

でしたので、狂女であった

ろうと思われます。昔は夜

はまだ狂人が野放しの時代後で考えると、その時分

うでした。しか

ばらで後ろに垂

らし、青白 も髪はざん

顔が目に焼き付いてなかな

ニッと笑った乱髪の青白 てから床についても、あの

か眠れませんでした。

履物なども履いていないよ

のをまとい、すね

気持で夢中でした。帰宅し

過ぎし日 武田 の体験 寛

若かりし日、実際に体験

黒谷線を急ぎ足で帰ってき 夜の真夜中に近い時刻で、 の頃のことでした。河野に れも潤色していない実話ば 方から誰か人らしいものが 中ごろまで来たとき、上の の帰途。生暖かい春の朧月 夜の会合があって出席して めてみました。これはいず ました。ちょうど黒谷線の わたしがまだ二〇歳くらい その一 真夜中の狂女 かりであります。 それは大正一〇年前後、

> り過ぎざま私の顔を見てニッ だが、先方は物も言わず通

事でしたが、あんな恐ろし 道の独り歩きなど日常茶飯

い思いは後にも先にもあり

んは」と声を掛けました。 でも元気を出して「こんば

と笑いました。私は頭から

した怖かった話、不思議に 九月一日は統計上、十八 着くらいの短い黒っぽいも てみますと、昔の男の野良 近づいてきます。かなり明 るい夜でしたので、近寄っ

信頼関係

术

でも追いかけられ

れるような

次号お送りします。 魂の来訪 青白い火の玉

としました。それから家ま

人心地がついたようでほっ 人家の灯を見た時、やっと

その二 その三

見て、一散に駒沢まで走り、

文責 壬生雅穂

してその人が遠ざかるのを

ちすくんでしまいました。 そ

冷水をかけられた

たように立

ません。

(豊丘村民話集・第壱 輯 〈昭和五十二年〉より)

南市場

日下

こでそれらの説に記されて なるほどと思う説である。そ ドバイスが各新聞記事など 多い日だそうだ。そこで早 歳以下の子供の自殺が最も いないと思われる一面を私 に載っている。それぞれ、 速教育評論家の先生方のア 観察していますか、人間の です。学校や家庭で細かく 簡単です。一人一人違うん 査などで分かるんだったら す。歩き方、声の調子、 場合が多い。アンケート調 とアンケート調査など行う 字、目の動き等々、 心は体中から発散していま

有名な人の名前 翌日先生は訂正したのです。 と先生に手紙を書きました。 お父さんは家に帰ってそっ 違って指導していたのです。 ある有名な人物の 父さん、授業の中で先生が、 す。授業参観に参加したお これを「あの先生、あんな もよく知ら の名前を間

部富次

等は随分減るのではないか を築き、安定した子供の心 は崩れます。ちょっとした じめ、自殺など悲しい事件 ます。そうすれば非行、 を養うことができると思い ことによって良い人間関係 ちょっとした心配りをする たりするものです。お互い ことで信頼を築いたり崩し らしたら先生に対する信頼 ないんだな」などと言いふ

すので紹介しま ここで両者の信 頼関係がなけれ す。その情報は んのお話を聞い 晴らしいお父さ ば交換できませ 交換するのです。 かなり分かりま たことがありま て接していれば 以前こんな素 notation. ひろがれ 平成30年 4月22日(3) 午前10時~12時 ゆめあるて大ホール ●日時

~シリーズ~ 豊丘の自然 No. 172

ツチイナゴ(バッタ科)



繰り出さなければならないの は、危険いっぱいの地上へとんでいた。しかし、けさの一句 この日、確認したオツネン 太陽の下で戸惑う虫たちゃ

こし協力隊員と 号を飾ったのは、 の山下研一さん んです。ご主人 いる佐藤葉子さ 年から活躍して して平成二十七 豊丘村の地域お てこの日を迎え 遠距離恋愛を経 は大阪の出身で、

らお二人で、豊 ました。これか からもお二人で末永くお幸 (本館主事

唐澤美幸)

それは信毎の「けさの一句」 た思いで三月六日を過ごした。 かち合ふ」八幡城太郎 今までに考えてもみなかっ 「虫穴を出でてかなしび もそうだったのか。 テングチョウ・スジボソヤマキ 一月二十七日に確認したもの。 ここに紹介したツチイナゴは

虫越冬。 モンキチョウ以外は、すべて成 三月七日現在、確認したもの。 (とんぼ)ツチイナゴ(ばった) トンボ・ホソミオツネントンボ

慌てるな。 本格的な春は、 もう少し先。 出出 拓

待を担った中学建設となっ たのだ。それほど村民の期 史をここに集めたことになっ

仲間に祝福令れ ゆめあるてで結婚披露

ルで結婚披露宴が行われま 日大安吉日に、交流学習セ ンターゆめあるての大ホー 春の陽気となった三月四 す。 思ったのが始まりだそうで

施設でやりたいと 是非自分も地域の くの方から聞き れたという話を多 式や披露宴が行わ 三九七組もの結婚 センターで、実に

仲間が、会場準備から当日 手作り感たっぷりのアット の運営まで企画してくれ、 ホームな披露宴が開催され 同じ地域おこし協力隊の

ゆめあるて披露宴の第

力隊を卒業しますが、これ 守っていました。 壇の新郎新婦を温かく見 の日のために用意された雛 五十人ほどの仲間達も、 二月で豊丘村地域おこし協 会費制により参加した約 新婦の葉子さんは、

していただきたい。 で楽しめるので、是非体験 どちらも自治会の会所等

電話三五一九〇六六)

豊丘中学校旧校舎正面玄関

口の門柱は旧河野村役場か 今では樹影もみごとになり るにあたっては、村内の歴 ら移転され、中学を建造す わうようになった。校庭入 四月初旬には花見の人で賑 ころ植樹したのであろう、 やっと桜の春がやってき 校庭の桜は校舎建設の ていた。 させてくれた。第二校舎へ り、筆記用具などを販売し の連絡廊下前には購買があ 入賞の楯や賞状も棚に飾ら ほどに磨かれて光っている。 創設以来の歴史を感じ

ウ・キタテハ(ちょう)オツネン チョウ・キタキチョウ・モンキチョ

学を卒業したことで、懐か しさを思い起こしていただ 村民のほとんどがこの中 写真と文/宮下正弘



トンボ、ホソミオツネントンボ

も叶わないもの だったのだろう 物として有名 撮影で、正面玄 見栄えも、とて 関にいたっては ては立派な建造 だが、当時とし 現在の玄関と比 かりである。 へると大きさも 平成十七年の







〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

など懲らしめ三途渡るまい 原 題「病」互 …実直に生きて清貧気にならず

健康は一つ病は数知れず 越えた病が人を強くする 福沢 勝美 桃子

…政争とメダル熱狂ピョン五輪

ちょっとそこまでの感覚 公民館冬季レク 悴むや箒持つ手の牴牾しさ

して行った。 囲碁ボールは比較的狭い場 碁ボール大会」を楽しんだ。 めあるての大ホールに変更 今年は会場を体育館からゆ 所でもゲームができるため、 会が二月十一日に開かれ「囲 冬季レクリエーション大

り壊した総合福祉 平成二十六年に取 けとなったのは、 露宴を行うきっか むことになります。 丘村山田地区に住

ゆめあるてで披

盟クラブ、一般等から十六 グに分かれて対戦した。 この競技は、子どもからお この日は、 筋力や速度等を要しない ームが参加し、四つのリー 分館や体協加

わせて用意した「ディスゲッ クで打抜くもので、こちら ことで、人気のニュースポー 年寄りまで気軽に楽しめる トと同じ九つの的をディス ター」は、ストラックアウ ツになっている。また、あ

寒晴の飯田赤門どっしりと 本丸御殿曲輪づたいに春の来る 飯田城名残の巨石雪を積む 寒の月真夜の厨を浮きぼりに たっぷりと無為の陽だまり福寿草 春草展の深雪に光る黒き猫 飯田城水の手門の冴返る 雲切れて雪のアルプス夕茜 繭玉を作りし後のミーティング 早春の光の中の飯田線 休耕地荒涼として枯深し 赤白の南天の実に主なし

松岡

照子

筒井 恵子

木下 三島

真水

丸山

豪雪のテレビに

思うその昔福井に旅した父は帰らず

(あしたば短i

宮下 宮下

純子

北原

昭子

凍てし夜部屋に

へれるを忘れたり精根尽きる [金の生る木] は

大倉 知江

夜勤終え帰る頃

かと時計見て昨夜の大雪に息子を思う

恵美子 時子

第11記

たことに驚くば

白く輝く学び舎2懐かしい姿で甦る、



沈む日に寂れる 大伴家持のいや

心一抹の自負を持ちいるしばしの時を

毛涯百合子

しけ吉事とふ六つの花 白き魔物は北陸襲ふ

題「直」 福沢勝美

者も客もニコニコ直売所 ぐな道ばかり来て今迷う は通り直しの出来ぬ道 直る勇気支えた農作業 安田 西元 峯子 健介

美風

病魔

だよ元気で薬のんでます 落ちてネジと心に緩みある 久保ひろし 由吟 桃沢健介 選 中地球諸共病んでいる

山本 義彦

(短歌会 夢あるて〉

歌

思い出す筆で書 きたる蟹榧の札貼りつけて節分迎へ

老齢のはは肺炎 松尾ヒサコ

れる渡り鳥飛び立つ羽音冴えかえりたり で入院す声かけるごと眼の力ます 松下 泰見

磯部セツ子

片桐

田中

静

如月の稲田

三島

保子

本屋にてつり銭

下平

玲子

里子

たちまちに熟柿食べつくし椋鳥は朱の糞残し群れて飛び去る 渡す女性の手痛いたしい程あかぎれのあり 大原真由美 福澤貴美恵